

当倶楽部の会員の皆様などにご協力をいただきながら行った事業を紹介いたします。

「夢の卵」 育成事業

この事業では、「将来こんな職業に就きたい」という「夢の卵(将来の夢)」を作文にしてもらい、優秀作品を表彰して、その道の専門家のもとへ派遣しています。
今年度で18回を数え、小学生の部と中学生の部をあわせて1,441作品の応募がありました。その中から選ばれた4名の子どもたちに夏休み期間中、夢に一歩近づいてもらうために、短期入門してもらいました。



小学生の部 (応募数584作品)

入門内容 山里の自然を活かした水族館の学芸員になりたい
中西 瑠焯斗さん(黒部市立若栗小学校5年)

身近な里山の環境にいる生物に興味を持ち、魚津水族館に入門し、水族生物の飼育・管理や来館者に生物の魅力を伝える学芸員業務を体験しました。



入門内容 科学捜査を使って犯罪を解決できる警察官になりたい
水野 紗彩さん(富山大学教育学部附属小学校6年)

強い使命をもって犯罪に立ち向かう警察官の仕事に魅力を感じ、富山県警察本部に入門し、犯罪解決の要となる科学捜査や鑑識捜査について体験しました。



中学生の部 (応募数857作品)

入門内容 困っている人を支援できる社会福祉士になりたい
成安 志真さん(射水市立小杉中学校1年)

日常生活を送ることが困難な人たちの生活を支えるために社会福祉士になりたいと、富山国際大学とフォーレスト八尾会おわらの里に入門し、福祉の意義ややりがいについて学びました。



入門内容 昆虫の生態とその大切さを伝えられる学芸員になりたい
森山 泰成さん(富山市立芝園中学校2年)

生態系を支える昆虫の大切さを伝える学芸員になりたいと、富山市科学博物館に入門し、学芸員としての姿勢を学んだり、実際に昆虫の展示コーナーを制作したりしました。



みらいの 起業家マインド 育成塾

社会の変革期に、失敗を恐れず自分で考え行動する「生きる力」を養うためのワークショップを、7月24日(日)に開催し、小学校6年生～中学校2年生までの約60名が参加しました。

このワークショップでは、カードゲームを使って、社会や経済・お金の仕組みを楽しく学ぶことで、今までにないアイデアで新しい仕事を生み出し、チームで協力しながら問題を解決することを体験し、他者と協働しながら新しい価値を創造する力など、これからの時代を生きていくために必要な力を育みました。



経済のしくみを知ろう
経済・お金のしくみをカードゲームを使って楽しく学びます。

自分の長所を見つけよう
自分がまだ気づいていない長所や特長を見つけます。

みらいをつくるヒントをつかもう
よりよい社会との関わり方を、普段会えないような職種の方や大学生と一緒に考えます。